

第5回一関市総合計画審議会 会議録

1 会議名 平成27年度第5回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成27年10月15日(木) 午後1時30分から3時30分まで

3 開催場所 一関市役所2階大会議室B

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 18人

阿部新一委員、及川忠委員、金野久美委員、坂本紀夫委員、佐藤芳郎委員、菅原勇委員、高橋雅弘委員、千葉博委員、千葉真美子委員、槻山チエ委員、徳谷喜久子委員(副会長)、永澤由利委員、永山克男委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員(会長)、原田哲委員、三浦幹夫委員、水谷みさえ委員

(欠席委員 9人)

及川修三委員、小山亜希子委員、小山麗子委員、木村静恵委員、小岩邦弘委員、菅原行奈委員、菅原五三男委員、千田博委員、松岡千賀子委員、

(2) 市出席者 4人

佐藤善仁市長公室長、千葉敏紀政策企画課長、藤島修政策企画課主幹、菊地絵理子政策企画課主任主事

5 会長挨拶

前回の審議会から膨大な資料が届いた。今日はお送りした資料をもとに、次の審議会での答申に向けて、おおまかな部分について決めていきたいと思う。現在も分野別計画の文章を検討しているようなので、変更の余地があるということである。意見をいただいて修正した分については次回の審議会でお示しすることでご了承願いたい。

積極的なご意見をいただいて、一関市に住む人たちが幸せを感じて暮らせるためにはどのようにしたらよいかの視点でご意見をいただきたい。

6 議題 (1) 総合計画前期基本計画の策定について

(仮)重点プロジェクト草案について【資料No.16】

分野別計画草案について【No.17】

まちづくりの進め方草案について【資料No.18】

項目一覧表について【資料No.19】

7 審議

- (1) 総合計画前期基本計画の策定について
(仮) 重点プロジェクト草案について【資料No.16】

分野別計画草案について【No.17】

まちづくりの進め方草案について【資料No.18】

項目一覧表について【資料No.19】

事務局から資料の説明を行い、質疑・意見を求めた。

【質疑・意見等】

- (仮) 重点プロジェクト草案について【資料No.16】

① 審議会委員意見

P1【プロジェクト1】まち・ひと・しごとの創生について「多様な人材の確保（ひと）」とあるが、人材育成は（まち）にはいっており、（ひと）は子育て応援の項目である。整合を図るべきではないか。

- ・ 事務局
検討する。

② 審議会委員意見

P4◆施策展開の基本的方向「当市の製造業が持つ優位性」の優位性はあるのか。

③ 審議会委員意見

NECを辞めた方がIT関連で開業するなど、技術のある方がいることも優位性だと思う。

- ・ 会長
県南技研があることも優位性の一つになるのではないか。

④ 審議会委員意見

P4◆施策展開の基本的方向「地産外商」とあるが、一般的に使われる言葉なのか。

⑤ 審議会委員意見

最近は一般的にも使われている言葉だと思う。

⑥ 審議会委員意見

P7◆施策展開の基本的方向「市民一人ひとりのライフデザインに応じて」とあるが、一人ひとりのライフデザインに応じることは不可能だと思う。この文言だと応じることになるので、検討した方がよい。

- ・ 事務局
文言を修正する。

⑦ 審議会委員意見

P10【プロジェクト2】ILCを基軸としたまちづくりについて、固い岩盤があるからこそ候補地となったので、自然（北上高地）への畏敬の念を記入した方がよい。

- ・ 事務局
現状と課題の部分に記入する。

⑧ 審議会委員意見

P10 2 目標「このように古来から」とあるが、このようにはどこにかかっているのか。また、「古来から」の使い方は誤っている。

- ・ 事務局
「このように」は、P1 テーマとした理由の後半にかかっているが、わかりにくい
ため、修正する。「古来から」についても修正する。

⑨ 審議会委員意見

P10 2 目標「北上高地での早期実現を目指して」とあるが、「北上高地での早期
実現のため」など強調した方がよい。

⑩ 審議会委員意見

P11 4行目「活躍できる地域となるよう」とあるが、傍観的なので「活躍できる
地域とするため」などとした方がよい。

⑪ 審議会委員意見

P11 3施策の方向（1）日本、東北での実現に向けての3段落目に「詳細設計が
～」とあるが、詳細設計を進めている時期なのか。

- ・ 事務局
現在、詳細設計を進めている時期であるが、5年間の前期基本計画期間内には終了
することも考えられるので、文言の削除等検討する。

⑫ 審議会委員意見

P14【プロジェクト3】東日本大震災からの復旧復興について、心のケアが抜けて
いるので、追記した方がよい。

- ・ 事務局
市民に対する心のケアはあるかもしれない。沿岸被災地に対して、道路の改良要望
や産業振興などバックアップの部分は施策としてやっている部分だが、沿岸被災地
の方への心のケアについてどうするのかは議論がほしいところ。

⑬ 審議会委員意見

P14 1 現状と課題について、「まさに復興に向けた取組を始めた矢先に」を「復
興の真ただ中」としてはどうか。

⑭ 審議会委員意見

P 16 「地域防災意識」は「防災意識」とした方がよい。

⑮ 審議会委員意見

P 16 「防災リーダーの育成強化に努めます」の文章は努力目標ではないので、「防災リーダーの育成強化を行います」とした方がよい。

⑯ 審議会委員意見

P 16 「市民に対して～円滑な実践行動につなげます」の文章は「市民には、災害が発生した場合における被害の最小化及び迅速な回復を見極め、自ら災害に対処するための手段を講じるとともに、自発的な防災活動への参加、過去の災害から得られた教訓の伝承等防災に寄与するよう努めます」としてはどうか。

⑰ 審議会委員意見

P 16 「住宅及び宅地や公共施設等」は「住宅及び公共施設等」としてはどうか。

○ 分野別計画草案について【No.17】

⑱ 審議会委員意見

P 4 主な指標に新規就農者数があるが、主に退職した人が新規就農者となっているため、指標としてはどうかと思う。年齢制限を設けてはどうか。

P 5 主な指標に6次産業化により開発された商品数とあるが、大切なのは商品数ではなく、販売金額だと思う。

⑲ 審議会委員意見

P 10 1-3 商業・サービス業に中小企業の振興があげられているが、1-2 工業にはない。

・ 事務局

1-3 商業・サービス業「中小企業の振興」を「商業・サービス業の振興」とし、中小企業の振興について記載、同じく1-2 工業「工業の振興」に中小企業の振興を記載するなど検討する。

⑳ 審議会委員意見

P 14 1-5 観光に地ビールフェスティバルの記載がない。知名度もあるので追加した方がよい。バルーンフェスティバル、熱気球とバルーンに関する記載が多いと感じる。「首都圏等からの観光客の誘客」とあるが、誘客できるのか疑問である。室根大祭や大東大原水かけまつりも歴史あるイベントであり、誘客が見込める。施策の展開に追加してはどうか。

㉑ 審議会委員意見

P 14～15 1-5 観光に「骨寺村荘園遺跡の活用」の記載があり、3-8 平泉関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護の項目がある。しかし、広くPRを図り、応援してもらう、誘客を図ることはあまり触れられていないように感じるので、1-5 観光にそのようなニュアンスを記載してはどうか。

② 審議会委員意見

1-5 観光 「ニューツーリズム協議会」は「いちのせきニューツーリズム協議会」が正式名称である。

③ 審議会委員意見

P 29 3-1 子育てに男性の育児支援についての記載がないので追加した方がよい。男性の育休取得や育児への協力など男性が果たす役割の記載も必要ではないか。

④ 審議会委員意見

P 32 3-2 義務教育・高等教育等に、キャリア教育について力を入れているので追加した方がよい。

P 33 施策の展開（1）教育内容の充実「最先端技術科学体験等」は「中学生最先端科学体験研修」ではないか。「生涯の食習慣」は意味がわからないので「生涯の好ましい食習慣」としてはどうか。「健康的な体力づくり」を「健康な体づくり」又は「体力向上」としてはどうか。「環境を守る実践力」を「環境を守るための実践力」とした方がよい。

P 33 施策の展開（2）地域の連携強化と学校運営の充実について、「ボランティアや思いやりの心を」を「ボランティア精神や思いやりの心を」とした方がよい。

⑤ 審議会委員意見

P 48 平泉関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護とあるが、保護ではなく保全ではないか。

⑥ 審議会委員意見

P 50 4-1 自然環境・公害防止について、自然環境と公害防止を同じ項目としているが違和感がある。自然環境と社会環境との関係性を明確にしておいた方がよい。

P 51（3）公害対策の充実とあるが、一関市には公害があるという認識はない。この表現だと既にある公害についての対策を充実させるように感じる。また、「近隣の騒音」は公害とはいえないのではないか。

公害防止の項目名称を環境保全としてはどうか。

⑦ 審議会委員意見

P 72 5-4 精神障害の部分がでてこない。自閉症などは見てもわからない。施設

収容されている方もいるが、そのような方への施策、配慮について記載が必要ではないか。障がい者福祉について、見えない障害についても配慮いただきたい。

- ・ 会長

担当課に伝える。

⑳ 審議会委員意見

発達障害については病気ではないので、精神の疾病と一緒にするべきではない。どの分野へ記載するのか、検討が必要である。

㉑ 審議会委員意見

P75 5-6 防災（治水・地山を含む）の現状と課題について、「安全な避難先であるかの検証」を「基準に適合しているかどうかの検証を実施し」としてはどうか。「避難所標識についても見直す必要があります」に「避難路の整備」についても含む記載とした方がよい。「その被害を可能な限り抑えることが重要です」に「減災を図ることが」という言葉をいれてはどうか。

P76 施策の展開について、「避難所、避難場所については」に「指定緊急避難場所や指定避難所」とした方がよい。「交通孤立時の適切な対応ができるよう努めます」は努力目標ではないので、強い表現にするべきである。「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」は平成25年に内閣府で定めたもののようなので、（内閣府）など入れた方がよい。

P77 市民の参画について「木造住宅の耐震性の向上を図りましょう」とあるが、木造だけではなく、鉄骨や鉄筋も含めてよいのではないか。

㉒ 審議会委員意見

P79 5-7 消防・救急・救助 施策の展開について、（1）消防力の強化に市の消防職員も消防力に入るので、市の職員に関しても定める必要があるのではないか。

P80 （3）救急体制の充実に「応急処置」と「応急手当」のどちらも記載があるので、どちらかに統一した方がよい。「応急処置」の方がよいのではないか。

○ 項目一覧表について【No.19】

㉓ 審議会委員意見

2-5 地域づくり活動で、地域づくりを担うリーダーを育成することが大きな課題なので文章に入れてほしい。

㉔ 審議会委員意見

雇用か地域づくりのどちらの分野に入るかわからないが、ボランティアに対する企業側への配慮はないか。被災地へのボランティアに参加する際、ボランティア休暇などの制度がある企業もある。

- ・ 事務局

まちづくりの進め方の協働のまちづくりの項目に企業の取組についての記載があるので、そのような文言も盛り込めるか検討する。

○ そのほか

⑳ 審議会委員意見

体系案に変更はないか。

・ 事務局

今までお示しした体系に変更はない。基本計画書の構成としては、こちらで印刷会社に案を提示する予定である。

㉑ 審議会委員意見

次回審議会が答申の予定のようだが、まだ変更、修正等があると思われるので、可能であれば、答申の前にもう一回審議会を開催してはどうか。

・ 事務局

今週まで担当部で文章の修正等を行っている。来週中に市長公室内で再度確認し、26日頃に最新の案を事前送付させていただき、29日（木）に審議会を開催する。

午後3時30分 閉会

8 公開、非公開の別 公開

9 傍聴者の数 1人（報道機関）

10 担当課 市長公室政策企画課